



NEW CONTEXT DESIGNER DG



DG FinTech Shift

 ***Digital Garage Group***

2022年3月期 決算サマリー

2022年3月期連結税引前利益 (IFRS) は、前期比3.2倍の454億円と過去最高益を大幅に更新

Profit before tax in FY 22.3 rose 3.2x YoY to 45.4 B JPY, Record-high quarterly profit before tax

2022年3月期連結経営成績は、収益72,955百万円(前期比80.2%増)、税引前利益45,393百万円(同3.2倍)と、昨年度に続き、大幅に過去最高益を更新いたしました。フィナンシャルテクノロジー事業の決済取扱高が引き続き好調に拡大したことに加え、インキュベーションテクノロジー事業において、投資先の大型資金調達等による公正価値伸長が業績を牽引いたしました。

昨今の事業環境の変化や当社グループの成長にあわせ、新年度の経営コンセプトは、【I】両利きの経営/Ambidexterity、【II】New Architect Designの2軸として走りはじめました。具体的には、【I】両利きの経営/Ambidexterityでは、「守り、既存事業の深堀」という右腕と、「攻め、新規事業の創造」という左腕で、大企業では共存が難しくなる両利きの経営を、初心を忘れずにファーストペンギンスピリットをもって推進してまいります。また、【II】New Architect Designでは、web3やオープンソース時代を視野に入れた次世代デジタルアーキテクトを設計し、これからのグローバル社会に貢献していきます。

As for the consolidated business results for the fiscal year ended March 31, 2022, revenue was 72,955 million JPY (up 80.2% YoY), profit before tax was 45,393 million JPY (up 3.2x YoY), significantly reaching a new record high profit continuing from last year. The transaction volume of the Financial Technology business continued to grow steadily. In the Incubation Technology (IT) business, the fair value of investee companies increased significantly.

In line with recent changes in the business environment and the growth of our Group, we have begun running our new fiscal year with two management concepts: [I] Ambidexterity Management and [II] New Architect Design. In [I] Ambidexterity Management, there are two aspects, “defense, deepening existing businesses” and “offense, creating new businesses.” We will promote this with the First Penguin Spirit without forgetting our original intention. In [II] New Architect Design will design the next generation of digital architects with an eye on the web3 and open-source era to contribute to the global society of the future.



林 郁

Kaoru Hayashi

代表取締役 兼
社長執行役員グループCEO
Representative Director,
President Executive Officer
and Group CEO

収益は前期比1.8倍の730億円、税引前利益は同3.2倍の454億円

～FTはEC、国内対面中心に決済事業好調で過去最高益を達成、ITは投資先公正価値上昇による大幅増益～

Revenue increased by 1.8x YoY to 73.0B JPY, profit before tax increased by 3.2x YoY to 45.4B JPY

FT : Achieved record high profit as EC payments and face-to-face settlements performed favorably,

IT : Significant profit growth due to increase in fair value of investees

2022年3月期は、収益72,955百万円(前期比80.2%増)、税引前利益45,393百万円(前期比3.2倍)、親会社の所有者に帰属する当期利益30,330百万円(前期比3.1倍)となりました。フィナンシャルテクノロジー事業(FT)は、ECの市場規模拡大に加え、国内対面決済中心に決済事業が好調に推移しました。また、当社主力業種である国内旅行系決済もコロナ前の2020年3月期水準以上まで回復し、増収増益となりました。マーケティングテクノロジー事業(MT)

は、主力のデジタルアド事業が堅調に推移しましたが、受託開発案件の減少やデジタルアド事業において注力業種の見直しを実施したこと等により減収増益となりました。インキュベーションテクノロジー事業(IT)においては、営業投資有価証券の公正価値が大幅に伸長しました。ロングタームインキュベーション事業(LTI)は、2021年3月期に子会社の事業譲渡を実施したことや今期子会社の減損を計上したこと等により減収減益となりました。

(単位:百万円 / JPY in Millions)		2021.3期 FY21.3				2022.3期 FY22.3				21.3期 FY21.3	22.3期 FY22.3	前期比 YoY	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	通期	%	増減額
収益	Revenue	6,944	12,320	9,447	11,767	10,843	29,266	12,779	20,067	40,478	72,955	+80.2%	+32,476
フィナンシャルテクノロジー	Financial Technology	2,340	2,409	2,525	2,392	2,516	2,675	2,814	2,757	9,666	10,762	+11.3%	+1,096
マーケティングテクノロジー	Marketing Technology	3,335	3,257	2,958	3,499	3,217	3,098	3,091	3,625	13,049	13,031	-0.1%	-17
インキュベーションテクノロジー	Incubation Technology	389	5,269	2,225	3,599	4,015	12,214	5,008	11,549	11,482	32,787	2.9倍	+21,305
ロングタームインキュベーション	Long-term Incubation	801	1,305	1,646	2,179	1,034	993	1,402	1,139	5,931	4,567	-23.0%	-1,364
連結調整	Others/Adjustments and Eliminations	79	81	94	97	61	10,286	465	996	351	11,808	33.6倍	+11,456
税引前四半期利益	Profit before tax	405	5,632	3,324	4,956	4,874	22,551	6,253	11,715	14,317	45,393	3.2倍	+31,077
フィナンシャルテクノロジー	Financial Technology	1,018	1,083	1,141	875	1,108	1,120	1,264	1,057	4,118	4,548	+10.5%	+431
マーケティングテクノロジー	Marketing Technology	178	78	202	276	223	146	119	395	735	883	+20.2%	+149
インキュベーションテクノロジー	Incubation Technology	72	4,916	1,861	3,415	3,636	11,886	4,593	11,100	10,264	31,215	3.0倍	+20,951
ロングタームインキュベーション	Long-term Incubation	120	485	843	1,205	599	536	849	-603	2,653	1,380	-48.0%	-1,272
連結調整	Others/Adjustments and Eliminations	-983	-931	-724	-815	-692	8,862	-572	-233	-3,452	7,366	—	+10,818

収益は前期比11%増の108億円、税引前利益は同11%増の45億円

Revenue marked 10.8B JPY,+11%YoY and profit before tax increased to 4.5B JPY, +11%

決済取扱高は前期比18%増の3.6兆円、取扱件数は同10%増の7.2億件と高成長を継続

Transaction volume increased 18% YoY to 3.6 T JPY, and the number of transactions increased 10% YoY to 723 million, continuing high growth

FTセグメントでは、Eコマース(EC)をはじめとするBtoCの商取引に必要な不可欠なクレジットカード決済やコンビニ決済等の電子決済ソリューション及び決済周辺サービス等の提供を行っております。

2022年3月期は、収益10,762百万円(前期比11.3%増)、税引前利益4,548百万円(前期比10.5%増)となりました。新型コロナウイルス感染症拡大による特需の一部反動あるも、EC市場拡大による取扱い増加や旅行関連決済の回復に加え、モバイルオーダー事前オンライン決済等の新規決済手段による取扱いや

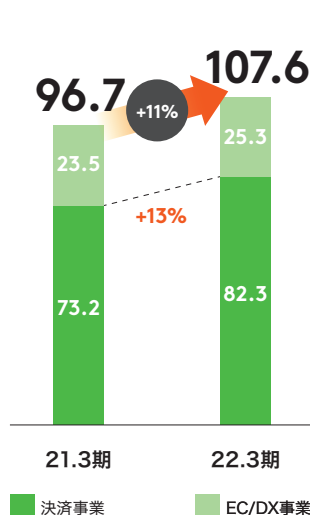
国内中心に対面決済の取扱いが好調に増加し、決済取扱高は前期比18%増の約3.6兆円、決済取扱件数は同10%増の約7.2億件まで伸ばいたしました。

2021年12月には東芝テック(株)、2022年2月には(株)ジェーシービーと資本業務提携をし、決済事業の更なる拡大を目指してまいります。今後も事業パートナーとの決済連携を推進し、フィンテック業界のプラットフォーマーとして、新たな成長領域を開拓してまいります。



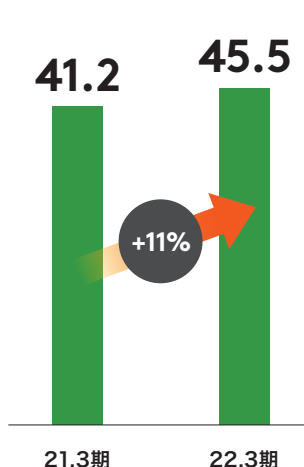
収益

(単位:億円)



税引前利益

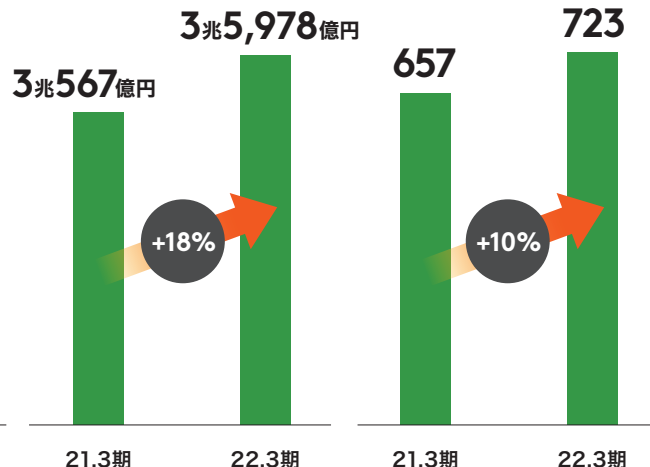
(単位:億円)



決済取扱高

決済取扱件数

(単位:百万件)



収益は前期比0.1%減の130億円、税引前利益は同20%増の9億円

Revenue marked 13.0B JPY, ▲0.1% YoY, and profit before tax increased to 0.9 B JPY, +20%

主力のデジタルアド取扱高はフィンテック関連中心に堅調、特にクレジットカード・キャリア決済のプロモーションが伸長

Mainstay Digital ads advertisement volume was strong, mainly in fintech related credit cards, etc.

MTセグメントでは、インターネットとリアルを融合した総合的なデジタルマーケティングや様々なデータを活用したデータマーケティングビジネス等を行っております。

2022年3月期は、収益13,031百万円(前期比0.1%減)、税引前利益883百万円(前期比20.2%増)となりました。主力のデジタルアド事業が堅調に推移しました。特に、通信キャリア決済・クレジットカード等の金融向けのフィンテック関連プロモーションにおいては、広告取扱高が11%増の約177億円と好調に増加しました。CRM等の受託開発案件の減少やデ

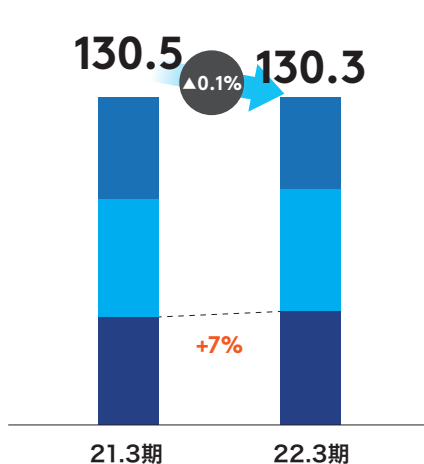
ジタルアド事業において注力業種の見直しを実施したこと等により、減収増益となりました。

グループフィンテックシフトに連動した取り組みとして、当社が提供するリテール販促プラットフォームと、東芝テック(株)が提供するスマホ型POSレジアプリを連携させることで、小売店舗における消費者接点や販促活動の一元管理を行い、小売店舗のDX化を実現する実証実験等も開始しております。今後もFTセグメントと共振する「デジタルマーケティングエージェンシー」としてリカーリング事業を推進してまいります。

セグメント収益 Revenue	セグメント税引前利益 Profit before tax	広告取扱高 Advertisement volume
130 億円 前期比 ▲0.1%	9 億円 前期比 +20.2%	375 億円 前期比 +7.1%

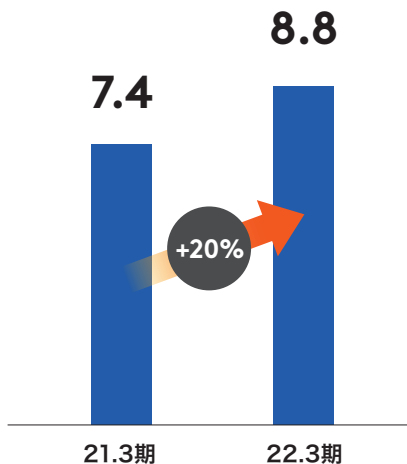
収益

(単位:億円)



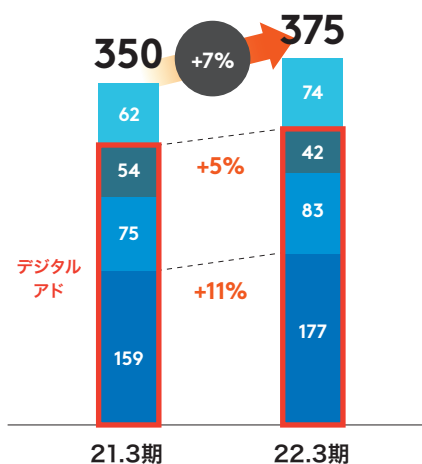
税引前利益

(単位:億円)



広告取扱高

(単位:億円)



デジタルアド 不動産 CRM等

金融 コスメ/HR スマホ/アプリ 不動産

営業投資有価証券残高は前期末比 65%増の779億円まで大幅拡大

Operating investment securities increased by 65% YoY to 77.9 B JPY

北米・アジア・日本で有力案件を厳選し投資実行を継続、暗号資産領域の投資先Blockstream社やインドの医療系ベンチャー等が資金調達を実施

Continued strategic investments in prominent companies in North America, Asia, and Japan, an investee Blockstream Corporation Inc., a promising startup in crypto asset field, and Indian medical venture company etc. completed a large-scale financing round

ITセグメントでは、国内外のスタートアップ企業等への投資及び当社グループ内の事業との連携による投資先の育成等を行っております。また、投資先持分における公正価値の継続的な向上を目指し、更なる支援体制の強化に取り組んでおります。

2022年3月期は、北米・アジア・日本で有力案件を厳選した投資を実行し、営業投資有価証券の残高は、77,950百万円(前期末比30,780百万円増)となりました。

FinTech/DX先進企業への戦略出資が引き続き奏功しております。DGグループと暗号資産領域で事業連携をしているBlockstream社やインドの医療系ベンチャー等が資金調達を実施し、公正価値が大幅に伸長しました。また、インドネシア投資先GoTo Group社の上場やインド投資先のDroom社が上場申請をする等、北米・アジア・日本等の各エリアの投資が順調に進捗しております。引き続き、当社の重点エリアにおけるFinTech/DX有望銘柄を中心に投資インキュベーションを実行してまいります。

■ セグメント収益 Revenue

328 億円 前期比 +185.6%

■ セグメント税引前利益 Profit before tax

312 億円 前期比 +204.1%

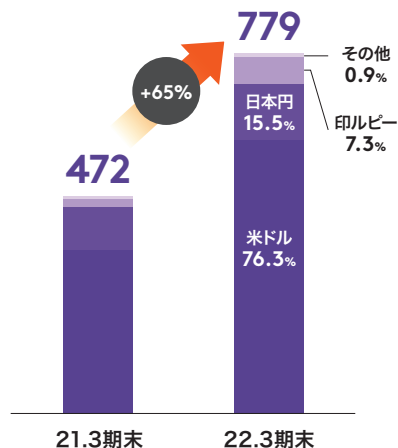
■ 営業投資有価証券残高 Operational investment securities

779 億円 前期期末比 +65.3%

エリア別ポートフォリオ(期末簿価ベース)

営業投資有価証券残高(通貨別比率)

(単位:億円)



【投資先・Exit先一例】

北米・欧州

MX Technologies
[米国]
米銀行等の金融機関に対し、顧客口座向けの個人資産管理ツールを提供

Helium Systems
[米国]
安価に提供可能なスマートセンサーデバイスを通じた、IoT事業を運営

Blockstream
[米国]
Bitcoinの基幹技術であるBlockchainをさまざまな用途に利用するための技術「Sidechain」を開発

Pie Systems
[デンマーク]
世界VAT(付加価値税/Value-Added Tax)の選付ワークフローを自動化し、空港のキオスクをバイパスするモバイルアプリを開発

アジア

Droom [インド] ✓上場申請済
インド最大手の自動車売買オンラインマーケットプレイス「Droom」を運営

NoBroker Technologies Solutions [インド]
物件検索から契約まで一連の手続きを全てオンラインで可能とするCtoC不動産マーケットプレイスを運営

Expedient Healthcare Marketing [インド]
診療所での検査予約や、医師/専門家からの関連情報の提供等を行う医療関連webサービス「Healthians.com」を運営

Ralali [インドネシア]
企業向けオフィス用品等のマーケットプレイス

GoTo Group [インドネシア] ✓上場済
配車サービス大手のGojekと最大規模のオンラインマーケットプレイスのTokopediaが合併

日本

ファーストグループ / **FIRST GROUP**
新車/中古車の販売後の自動車整備市場(オートアフターマーケット)向けサービスをB2B2Cプラットフォームとして提供

ワンダートランスポートテクノロジー / **WTT**
バスツアーを企画したい企業や個人をサポートするオンラインサービス「BUSKET(バスケット)」や誰もが簡単にバスを手配し、ツアー作成ができる貫切バスオンデマンドサービス「busmarket(バスマーケット)」を提供

Secual
スマートセキュリティおよびスマートタウンに関わる製品の企画・開発・製造・販売及びその運営サービスの提供

GOYOH
国内外の不動産・商業施設・住居用ITサービスの開発・運営。ステークホルダーのESGへの行動変容から不動産価値を高める不動産テックサービス「EaSyGo」を展開

税引前利益は前期比48%減の14億円。カカコムはコロナ影響から回復も子会社減損等により減益

Profit before tax marked 1.4B JPY, +48% YoY. Kakaku.com, recovered from COVID-19 impact, profits declined due to impairment of investments in subsidiaries and other factors

セグメント主力のカカコムはコロナ影響から回復基調、ECや求人サイトのトラフィックは堅調

Kakaku.com recovered from COVID-19 impact, and EC and job information websites remained firm

LTIセグメントでは、当社グループがこれまで培ってきた投資育成や事業開発のノウハウを活かし、中長期的かつ継続的な事業利益の創出に取り組んでおります。

2022年3月期は、収益4,567百万円(前期比23.0%減)、税引前利益1,380百万円(前期比48.0%減)となりました。持分法適用会社である(株)カカコムの業績が新型コロナウイルス感染症拡大の影響から回復し、ECや求人サイトも堅調に推移しました。一方、前連結会計年度において連結子会社の事業譲渡を実施したことや当連結会計年度において連結子

社株式におけるのれんの減損損失を計上したこと等により減収減益となりました。

デジタルヘルス領域の事業強化及び当社グループ各社とのシナジー獲得を目的として、(株)Welbyを2022年3月に持分法適用会社にいたしました。PHR (Personal Health Record) 領域のリーディングカンパニーである(株)Welbyと当社グループの様々な機能を連携させることで、PHR基盤を活用したデジタルヘルス事業を加速してまいります。

セグメント収益 Revenue

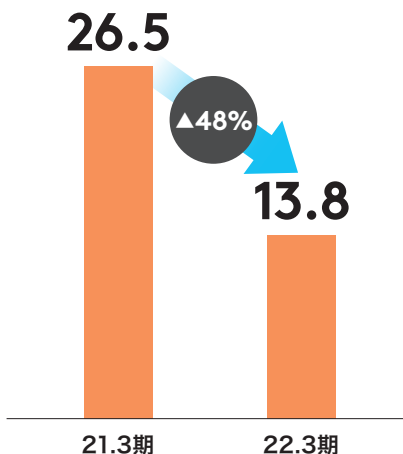
46億円 前期比 ▲23.0%

セグメント税引前利益 Profit before tax

14億円 前期比 ▲48.0%

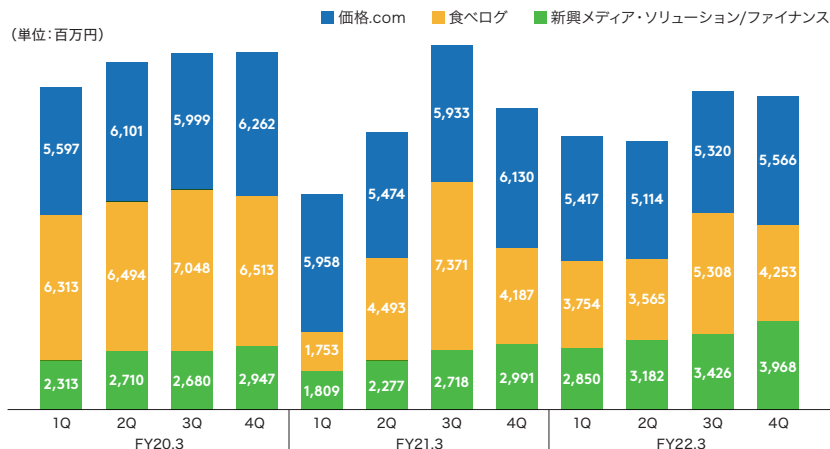
税引前利益

(単位:億円)



カカコムの主な事業進捗

【カカコムグループ 事業別経営成績の四半期推移】



* (株)カカコム 2022年3月期 決算説明資料より抜粋

TOPICS



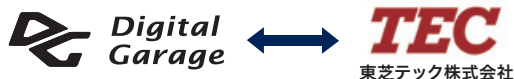
東芝テック(株)と資本業務提携

～ リテール市場のキャッシュレス推進とDX化を共同推進 ～

■ 2021年12月東芝テック(株)と資本業務提携契約を締結

2018年、当社の決済事業子会社である(株)DGフィナンシャルテクノロジーと、POSシステム最大手である東芝テック(株)は、合併会社TDペイメント(株)を設立し、対面決済領域で事業を拡大してきましたが、当社グループとして東芝テック(株)との提携領域を拡大し、決済事業に留まらない協業を推進してまいります。

資本業務提携契約を締結 (2021年12月)



決済プラットフォームである
DGFTとPOS最大手東芝テックの戦略的JV



TDペイメント株式会社

決済に留まらない多角的なアライアンス事業推進

- 小売向けフードデリバリーSaaS
「パンゲア デリバリー」を東芝テック、JCBとも連携予定
- 加盟店向けスマホ型POSレジアプリやリテール販促プラットフォームを東芝テックと開発開始



(株)ジェーシービーと資本業務提携

～ 経営資源の融合を通じ、決済インフラ事業基盤と次世代フィンテックビジネスの共同開発を推進 ～

■ 2022年2月(株)ジェーシービーと資本業務提携契約を締結

日本発唯一の国際カードブランドを運営する(株)ジェーシービーは、世界に約3,700万店の加盟店を有しており、当社の決済事業子会社である(株)DGフィナンシャルテクノロジーと、これらの加盟店やカード会員の消費活性化、利便性向上に資する新たな付加価値サービスやフィンテックテクノロジーを開発し提供することで、消費生活のさらなる充実に貢献していくことを目指してまいります。

資本業務提携契約を締結 (2022年2月)



決済事業開業以来の
アライアンスパートナー



世界で1億4,000万人が利用するJCBブランドと
DGFTの決済プラットフォーム事業

決済事業領域を超えた包括提携(主な内容)

- 1) 決済インフラ連携及びキャッシュレス加盟店開拓の相互協力による決済事業のさらなる拡大
- 2) 次世代決済・フィンテックマーケティングサービス等加盟店やカード会員を対象とした新たなサービスの協創
- 3) 両社の開発体制や顧客基盤を活用したマーケティング事業及びR&Dにおける新規事業開発・サービスの協業展開

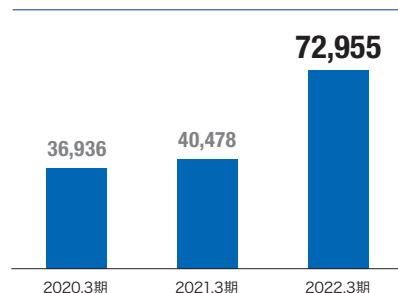
➡ プロジェクトの詳細が決まり次第、別途発表予定

◆ 業績の推移 [IFRS] Financial Results

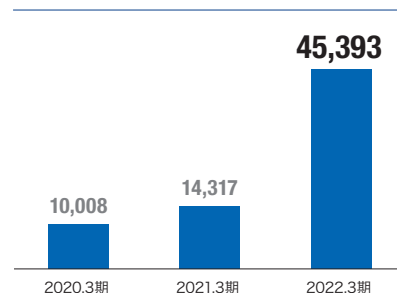
連結業績 Consolidated Performance

(単位: 百万円 / JPY in Millions)

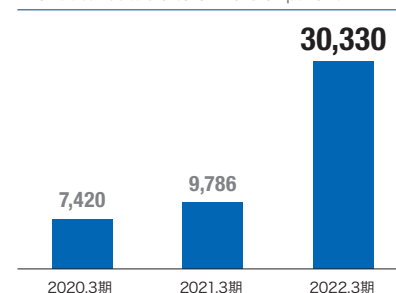
収益 Revenue



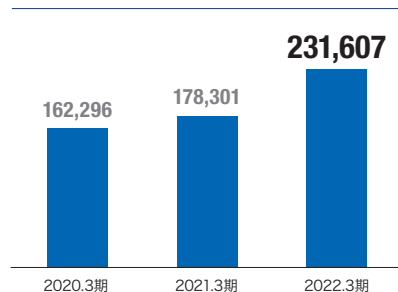
税引前利益 Profit before tax



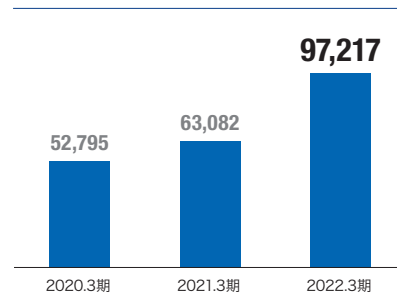
親会社の所有者に帰属する当期利益
Profit attributable to owners of parent



資産合計 Total assets



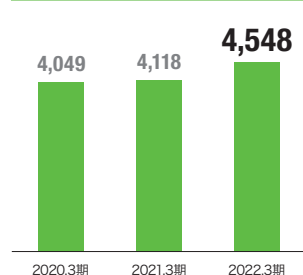
資本合計 Total equity



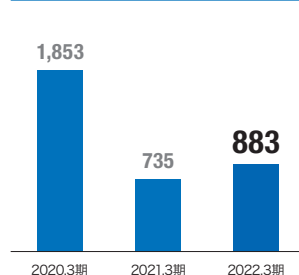
セグメント別税引前利益 Profit before tax by segments

(単位: 百万円 / JPY in Millions)

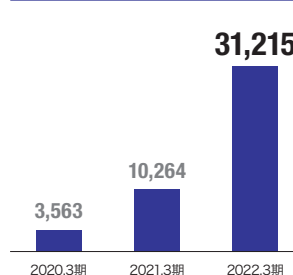
FT



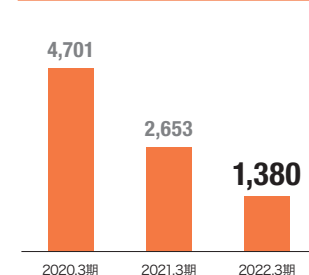
MT



IT



LTI



◆ 連結財政状態計算書(要約) Consolidated statement of financial position

(単位:百万円 / JPY in Millions)		2021.3期末	2022.3期末	前期末比	主な変動要因/備考
流動資産	Current assets	113,548	147,642	+34,094	
現金及び現金同等物	Cash and cash equivalents	37,989	43,415	+5,427	
営業債権及びその他の債権	Trade and other receivables	26,574	24,462	-2,112	FT事業関連科目
営業投資有価証券	Operational investment securities	47,170	77,950	+30,780	IT投資先の公正価値増加
非流動資産	Non-current assets	64,753	83,965	+19,212	
有形固定資産	Property, plant and equipment	19,478	18,423	-1,055	
持分法で会計処理されている投資	Investments accounted for using equity method	22,446	27,808	+5,362	持分法投資利益の取込
その他の金融資産	Other financial assets	7,878	23,317	+15,439	投資先の公正価値増加
資産合計	Total assets	178,301	231,607	+53,306	
流動負債	Current liabilities	56,865	59,242	+2,377	
借入金	Borrowings	9,768	9,223	-545	1年以内返済の長期借入金のリファイナンス
営業債務及びその他の債務	Trade and other payables	39,911	43,900	+3,989	FT事業関連科目
非流動負債	Non-current liabilities	58,355	75,149	+16,794	
社債及び借入金	Bonds and borrowings	35,850	40,710	+4,860	
その他の金融負債	Other financial liabilities	12,168	10,683	-1,486	
繰延税金負債	Deferred tax liabilities	8,515	22,001	+13,486	有価証券評価益に対する税金費用相当見積額の増加
負債合計	Total liabilities	115,220	134,390	+19,171	
資本合計	Total equity	63,082	97,217	+34,136	
親会社の所有者に帰属する持分	Total equity attributable to owners of parent	62,134	95,738	+33,603	
資本金	Share capital	7,637	7,692	+55	
資本剰余金	Capital surplus	4,566	6,147	+1,580	自己株式の処分
自己株式	Treasury shares	-4,915	-1,409	+3,506	
その他の資本の構成要素	Other components of equity	2,062	2,273	+211	上場株式の時価評価による増加
利益剰余金	Retained earnings	52,785	81,035	+28,250	当期利益の計上による増加
非支配持分	Non-controlling interests	947	1,479	+532	
負債及び資本合計	Total liabilities and equity	178,301	231,607	+53,306	

◆ 会社情報

会社概要

商号 株式会社デジタルガレージ
設立 1995年8月17日

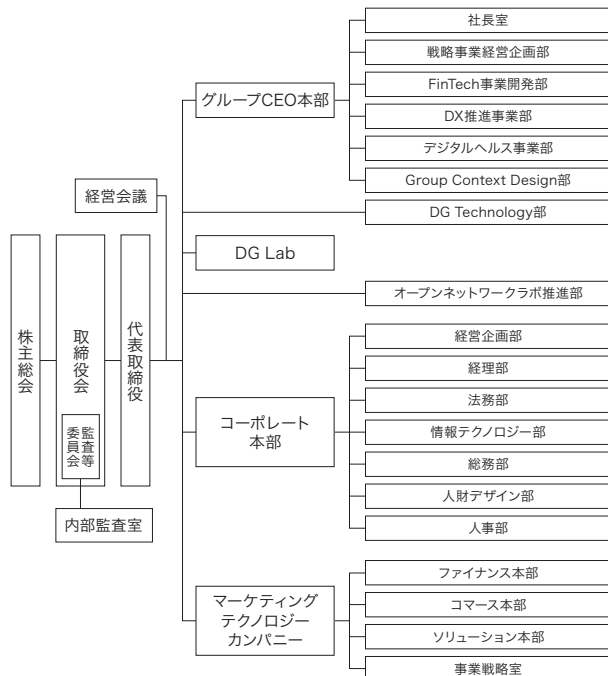
役員

(2022年3月31日現在)

代表取締役	林 郁	社外取締役	大村 恵実
取締役	踊 契三	取締役(監査等委員)	六彌太 恭行
取締役	曾田 誠	社外取締役(監査等委員)	坂井 眞
取締役	大熊 将人	社外取締役(監査等委員)	井上 準二
取締役	田中 将志	社外取締役(監査等委員)	牧野 宏司
取締役	篠 寛	社外取締役(監査等委員)	大野 実
取締役	伊藤 穰一		

組織図

(2022年4月1日現在)



株式情報

(2022年3月31日現在)

発行可能株式総数: 120,000,000株 議決権総数: 470,845個
発行済株式総数 : 47,482,800株 株主総数 : 4,727名

大株主

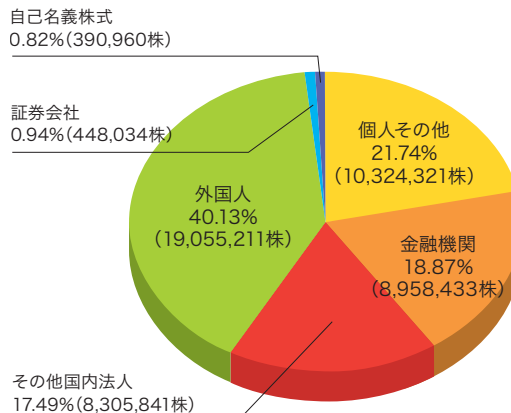
(2022年3月31日現在)

	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	7,214,900	15.32
林 郁	6,839,500	14.52
(株)電通グループ	3,300,000	7.01
(株)ジェシービー	1,424,300	3.02
BNP PARIBAS LONDON BRANCH FOR PRIME BROKERAGE SEGREGATION ACC FOR THIRD PARTY	1,324,756	2.81
エムエルアイ フォークライアントジェネラル オムニノンコラテラルノントリーティービービー	1,106,498	2.35
ピーエヌワイエム アズ エージーティ クライアント 10 パーセント	975,754	2.07
東芝テック(株)	949,500	2.02
TIS(株)	940,200	2.00
ジェービー モルガン チェース バンク 385632	798,029	1.69

*持株比率は自己株式(390,960株)を控除して計算しております。

株式分布状況

(2022年3月31日現在)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
中間配当を行う場合の基準日	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)
郵便物送付先 (お問い合わせ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行(株)の本店及び 全国各支店で行っております。
住所変更等の お申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設 されました株主様は、特別口座の口座管理機関である 三井住友信託銀行(株)にお申出ください。
未払配当金の 支払について	株主名簿管理人である三井住友信託銀行(株)に お申出ください。
公告方法	電子公告により行います。ただし事故その他やむを得ない 事由によって電子公告による公告を行うことができない 場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載 サイトアドレス	https://www.garage.co.jp/ja/ir/public-notice/
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場
銘柄コード	4819

Digital Garage

株式会社デジタルガレージ

本社 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南3-5-7 デジタルゲートビル

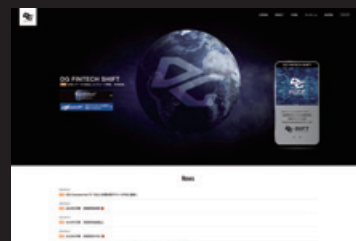
本社 〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町15-1 渋谷パルコDGビル

【お問い合わせ先】 ☎03-6367-1111

【当社Webサイト】 <https://www.garage.co.jp/ja/>

Webサイトのご案内

当社WebサイトではIR情報のほか、デジタルガレージグループに
関する情報をリアルタイムで紹介しております。ぜひご覧ください。



当社Webサイト <https://www.garage.co.jp/ja/>



当社Webサイト IRページ <https://www.garage.co.jp/ja/ir/>



DG Financial Technology

決済とデータを融合したグループ戦略「DGフィン
テックシフト」を牽引する株式会社DGフィン
シャルテクノロジーの情報を発信しております。



DG FT Webサイト <https://www.dgft.jp/company/>

